

ふるさとの昔話

比奈にある市立昭和幼稚園の片すみに「お菊塚」があり、毎年6月上旬には、園児と父母による「お菊まつり」が行われています。

江戸時代にまつわる働き者のお菊さんと1町6反の話しをたずねてみました。



昭和幼稚園にあるお菊塚

お菊さんと1町6反

東国の「お菊さん」は、若いころ遊ぶことが大好きで、毎日毎日遊びほうけていました。

でも、ある晩死んだ父親の夢を見て、今迄のことを深く反省し働かなくては行けないと決心しました。

東海道を西に下って比奈村まで来たお菊さんは、景色のよいこの村が気に入り住むことにしました。

百姓の手助けをして朝から晩まで村人が驚くほどよく働きました。

いつしかお菊さんは、村人にかわいがられ、そのうち自分でも田を買って1町6反の田を作るようになりました。

その日もお菊さんは、朝早くから田植えをしていました。もう少しで終ろうというとき、太陽が西の山に沈もうとしていました。

「ああ！おてんとうさまが、もう少し待ってくれたらなあ。」

するとどうでしょう。沈みかかっていた夕日は、西の山から顔を出したではありませんか。

「ありがたや、ありがたや」
田植えが終ったお菊さんはそのまま倒れて死んでしまいました。

それからのち、この付近の田を、誰いうとなく1町6反というようになり、お菊塚が立てられました。



なかむらみよこ
中村美代子さん
(市立昭和幼稚園々長)

昭和幼稚園では、6年ほど前から「郷土を知ろう」ということで、地域に伝わる昔話しをほりおこして園児や父母に伝えているんですよ。

この話しもその一つで、働くことの尊さや根性を子どもたちに学ばせたいと思っています。

これからも伝承を大事にして、郷土を愛する気持ちをいつまでも持ち続けてほしいと願っています。

市立博物館 展示物



富士市の古墳



国指定史跡 浅間古墳
(神谷西)

富士市には、大小約400ほどの古墳が発見されています。その中には浅間古墳(写真)や東坂古墳(比奈)のように、巨大な墳丘をもった古墳があります。これらは古墳時代前期から中期の終わりごろのもので、流河国の王者の墓であろうと考えられています。

こうした古墳から発掘された土器や刀剣、装飾品などの実物が博物館に展示されています。



古墳から出土した土器
左から長頸壺、つき、甗

これらは、いずれも埋立ごみとして処理されていましたが、全くもったいないことです。

あき缶や、あきピンを分けて出せば立派に資源として再利用できます。

— 進めよう ごみの減量・資源化 —

ふじの未来



富士市は、市民のみなさんから出された、ごみの分析調査をしたところ「燃せないごみ」のなかに、重量比でかん・金属類が27%、ビン・ガラス類が31%含まれていました。